

新規事業採択時評価結果（令和2年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

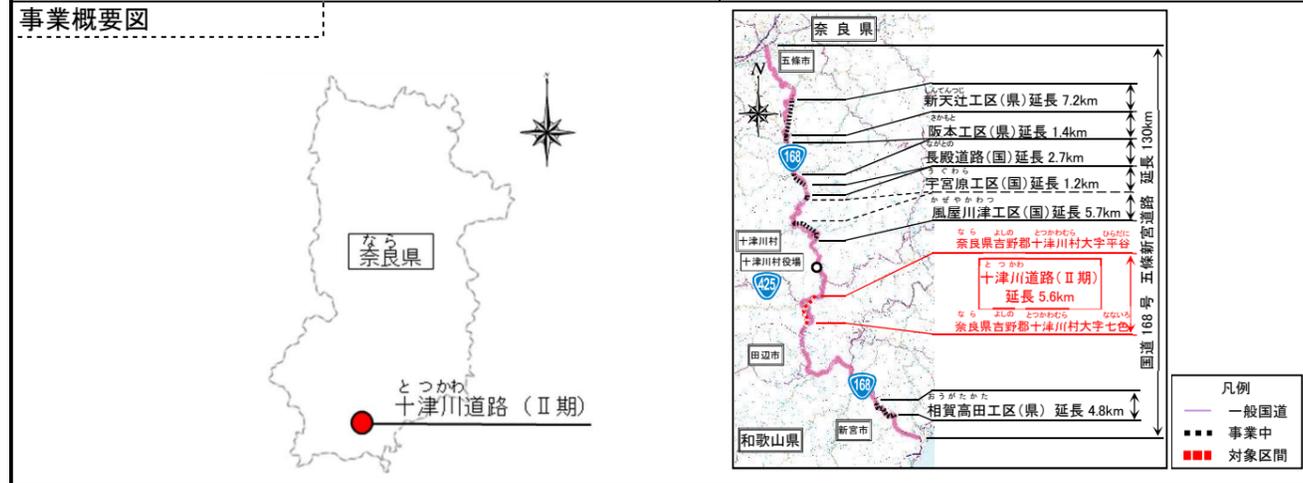
事業の概要

事業名	一般国道168号（五條新宮道路） 十津川道路（Ⅱ期）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：奈良県吉野郡十津川村大字七色 至：奈良県吉野郡十津川村大字平谷	延長	5.6 km		

事業概要
一般国道168号五條新宮道路は、和歌山県新宮市から奈良県五條市を結ぶ延長約130kmの地域高規格道路であり、「紀伊半島アンカールート」の一部を形成し、高規格幹線道路の空白地帯である紀伊半島内陸部を南北に縦貫する極めて重要な幹線道路であり、十津川道路（Ⅱ期）は、五條新宮道路の一部を構成する延長5.6kmの道路である。

事業の目的、必要性
十津川道路（Ⅱ期）は、十津川村大字七色から平谷間の国道168号の災害発生箇所を回避し、既存集落からもアクセス可能な安全で信頼性の高い幹線道路を確保するほか、第二次救急医療機関への速達性・走行安定性の向上、周辺地域の観光資源間の周遊性向上により地域の観光振興を支援し、木材等の安定した輸送の確保により地域産業を支援するものである。

全体事業費：約380億円 計画交通量：約3,500台/日



関係する地方公共団体等の意見

【奈良県知事】
国道168号（五條新宮道路）は、京奈和自動車道、国道169号と一体となって紀伊半島アンカールートを構成し、今後発生が危惧される南海トラフ巨大地震などの大規模災害への対応や救急医療を支える「命の道」として、紀伊半島全体の強靱化を図るとともに、本県南部地域の地域創生を推進していく上で、必要不可欠な幹線道路です。
しかしながら、当該区間の現道は、急峻な地形沿いに位置し、幅員狭小や線形不良箇所をかかえており、また、落石や崩土の危険性も高い状況で、事前通行規制や落石・崩土の影響による通行止めもたびたび発生する脆弱な区間となっています。
つきましては、事業中である長殿道路、風屋川津・宇宮原工区とともに、当該区間についても、地域高規格道路として、直轄による権限代行事業の実施をお願いいたします。
本県といたしましては、引き続き、環境調査などの必要な調査、関係機関協議、用地交渉や地元説明など事業への協力を積極的に進めてまいります。特に用地取得については、十津川道路Ⅱ期においても、京奈和自動車道で取り組んでいる国との用地買収共同チームと同様に、国と十津川村とのチーム体制で用地交渉や地元説明にあたっていく所存です。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

・費用対便益：便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.3	総費用：274億円 （事業費：255億円 維持管理費：19億円）	総便益：347億円 （走行時間短縮便益：316億円 走行経費減少便益：28億円 交通事故減少便益：3.2億円）	基準年：令和元年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=0.99（交通量 -10%）	B/C=1.4（交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=1.2（事業費 +10%）	B/C=1.4（事業費 -10%）	
	事業期間変動	B/C=1.2（事業期間 +20%）	B/C=1.3（事業期間 -20%）		

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	－
事故対策		－	・注目すべき影響はない。
歩行空間		－	・注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活	◎	・第二次救急医療機関（新宮市立医療センター）への搬送時間が短縮し、60分圏内の集落が拡大。走行性の悪い急カーブ区間を回避することで走行安定性が向上し、搬送患者への負担軽減が期待される。 [十津川村内の60分圏内の集落：【現況】2集落 → 【整備後】7集落] [平面線形の厳しい区間（R ≤ 50m）：【現況】94箇所 → 【整備後】0箇所]
	地域経済	○	・移動時間の短縮や走行安定性の向上により、周辺地域の観光資源間の周遊性が向上することで、地域の観光振興を支援。 [新宮市～道の駅十津川郷の所要時間：【現況】約72分 → 【整備後】約63分（約1割短縮）] ・十津川村内で生産される木材の効率的で安定した輸送の確保が期待される。
	災害	◎	・災害発生箇所を回避し、安全で信頼性の高い幹線道路ネットワークを確保。 [既往災害発生箇所（H21.4～H31.3）の通過箇所：【現況】9箇所 → 【整備後】0箇所] [幅員5.5mを満たさない幅員狭小区間：【現況】5箇所 → 【整備後】0箇所] ・南海トラフ巨大地震等の広域的な大規模災害時の代替性及び多重性を向上。
	環境	－	・注目すべき影響はない。
	地域社会	－	・注目すべき影響はない。
事業実施環境		○	・奈良県知事、十津川村長、国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会が十津川道路（Ⅱ期）の権限代行による新規事業化を要望

採択の理由

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。
また、十津川道路（Ⅱ期）の整備により、災害に強い道路ネットワークが確保されるほか、救急医療施設への速達性・走行安定性の向上や、観光資源間の周遊性が向上することにより地域の観光振興を支援、木材等の安定した輸送の確保により地域産業を支援するなど事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

新規事業採択時評価結果（令和2年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>十津川道路（Ⅱ期）は、十津川村大字七色から平谷間の国道168号の災害発生箇所を回避し、既存集落からもアクセス可能な安全で信頼性の高い幹線道路を確保するほか、第二次救急医療機関への速達性・走行安定性の向上、周辺地域の観光資源間の周遊性向上により地域の観光振興を支援し、木材等の安定した輸送の確保により地域産業を支援するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 紀伊半島内陸部を縦貫する幹線道路である国道168号は、災害や事前通行規制による通行止めが多発するなど、災害に対して脆弱。 平成23年9月の台風12号では、十津川村内で孤立集落が発生する中、国道168号で10箇所が被災し、救命・救急活動に支障。 	<p>※奈良県国土強靱化地域計画（H28.5）</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生時には、人員や物資、救助・救急、医療活動など緊急輸送に係る交通輸送が確保され、被災後も経済活動を機能不全に陥らせないために、紀伊半島アンカールートを構成する京奈和自動車道、五條新宮道路、国道169号をはじめとする骨格幹線道路ネットワークの整備を進める。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 災害、豪雨による国道168号の通行止め時の救急活動が懸念されるほか、第二次救急医療機関への救急搬送には60分以上要する状況。 国道168号は多くのカーブが連続し走行安定性が悪いいため、搬送患者への負担が課題。 	<p>※奈良県国土強靱化地域計画（H28.5）</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生時には、人員や物資、救助・救急、医療活動など緊急輸送に係る交通輸送が確保され、被災後も経済活動を機能不全に陥らせないために、紀伊半島アンカールートを構成する京奈和自動車道、五條新宮道路、国道169号をはじめとする骨格幹線道路ネットワークの整備を進める。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 年間80万人超であった十津川村の観光入込客数が国道168号の災害時には65万人程度まで落ち込むなど、主要な観光ルートである国道168号の災害等による通行止めが、観光入込客数に大きく影響。 十津川村では山づくりから製材・加工・仕上げ、流通・販売までを村内で一貫して実施する「十津川式林業第6次産業化」に取り組んでおり、主要な輸送路である国道168号が災害に対して脆弱であることが課題。 	<p>※奈良県道路整備基本計画（R1.10） （観光の振興）</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の観光地への周遊行動を促すためにも、京奈和自動車道をはじめとする主要な幹線道路の整備が重要と考えられる。 当面重点的に整備を推進する幹線道路として、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ、道路政策の最重要課題として、その重点的な整備を推進する。 骨格幹線道路ネットワーク 4) 南部・東部を縦横断する道路 国道168号等
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> 当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、累積脆弱度の減少によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 また、本事業において、災害に強い道路ネットワークが確保されるほか、救急医療施設への速達性・走行安定性の向上や、観光資源間の周遊性が向上することにより地域の観光振興を支援、木材等の安定した輸送の確保により地域産業を支援するなど有効性の高い事業と評価する。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 （防災機能ランク）		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	新宮市	十津川村	1	1.00 (D)	1.00 (D)	▲8.89	0.05	0.00	○

事業の効率性